



上村松篁「扶桑花」 ©Atsushi Uemura2018/JAA1800189

写実の奥に見出そうとした造形



金島桂華「月に飛ぶ」



福田平八郎「紅白梅（檜梅）」

近代の花鳥画5人展

平八郎・桂華・神泉・華楊・松篁



山口華楊「燦花」

2018

10・27_{SAT} → 12・2_{SUN}

開館時間 9:00 ~ 17:00 (入館は16:30)

休館日 月曜日

入館料 一般800円(700円) 高校生500円(400円)
小・中学生300円(250円)
()内は20名以上の団体料金

主催 公益財団法人タカヤ文化財団 華鶴大塚美術館

後援 井原市 井原市教育委員会 井原市文化協会
井原鉄道 井原放送 (公財)岡山県郷土文化財団
公益社団法人岡山県文化連盟 山陽新聞社
中国新聞社備後本社 エフエム岡山
エフエムふくやま



徳岡神泉「麗日」

はな とり 公益財団法人 タカヤ文化財団
華鶴大塚美術館

近代の花鳥画5人展

写実の奥に見出そうとした造形

平八郎・桂華・神泉・華楊・松篁

このたび、華鶴大塚美術館では、「平八郎・桂華・神泉・華楊・松篁 近代の花鳥画5人展～写実の奥に見出そうとした造形」展を開催いたします。

今回取り上げる5人の福田平八郎、金島桂華、徳岡神泉、山口華楊、上村松篁は、近代花鳥画の名手として、今なお絶大な人気を博しています。本展は、晩年の輝かしい活躍と作品で知られる5人の20代から30代にかけての若き日の作品にスポットをあててご紹介します。

近代から現代への過渡期と重なる彼らの青年時代。彼らは、花鳥画家として自らの進むべき方向を模索するなか、真摯に古を学び、自然に学ぶと同時に、時代の志向の移り変わりを敏感に感じながら、写実の奥に独自の造形を見出そうとしました。そうした5人の若き日の情熱と苦勞のエネルギーから生まれた作品は、将来を予感させ、大変魅力に富むものばかりです。

本展では、ほぼ同時代を生きた5人の画家が、同じ花鳥画の道を志しながら、独自の画境を深めた絵画世界を若き日の作品を通して探ります。そこから、彼らのその後の展開にかかわる個性の萌芽、美意識の発見にも繋がればと思います。

ワークショップ「花を描く」

11月25日(日) / ①10:30～ ②13:30～ (各回約90分)

講師：上西竜二氏(画家)

対象・定員：①小学生15名 ②大人15名(先着順)

参加費：いずれも500円

※持参する物など詳細はお申込時にお知らせします。



上村松篁「水禽」 松伯美術館蔵 ©Atsushi Uemura2018/JAA1800189



山口華楊「錦木小禽」



徳岡神泉「蓮」 東京国立近代美術館蔵



金島桂華「梅の雪」



福田平八郎「雨後」 京都市立芸術大学芸術資料館蔵



ご利用案内

■井原鉄道「子守唄の里 高屋駅」から徒歩1分。

岡山方面から

JR岡山駅から伯備線で清音駅下車、井原鉄道に乗り換え。

井原鉄道「清音駅」から「子守唄の里 高屋駅」まで乗車。

【所要時間：60分前後】

福山方面から

JR福山駅から福塩線で神辺駅下車、井原鉄道に乗り換え。

井原鉄道「神辺駅」から「子守唄の里 高屋駅」まで乗車。

【所要時間：30～40分前後】

■お車では、山陽自動車道・笠岡IC、あるいは福山ICから

所用時間約30分。

はな とり 公益財団法人 タカヤ文化財団
華鶴大塚美術館

〒715-0024 岡山県井原市高屋町3-11-5
 TEL.0866-67-2225 FAX.0866-67-0200

http://www.takaya.co.jp/hanatori/museum.html E-mail hanatori@fib.takaya.co.jp